

令和6年度予算のポイント



目次

編成の基本的な考え方	1
予算規模	2
令和6年度予算の主な施策	3
主な財政指標	3 3

編成の基本的な考え方

(1) 第1次実施計画事業の推進

2年度目である第1次実施計画について、事業費の精査を行ったうえで、事業の推進を図る。

(2) 財政の健全性の維持に向けた取組み及び行政改革の推進

財政の健全性の維持に向けた取組み及び行政改革の取組みを着実に推進するとともに、既存の事務事業については、事業効果や必要性について検証を行い、状況に応じて見直しを図る。

主な施策としては、

- 妊娠前から子育て期までの支援の充実、学びを支える教育環境の充実、給食費等の支援など、**幅広い子育て世帯への支援**
- 生活に不可欠な既存路線バスの維持・確保、バス路線の廃止に伴う公共交通不便地域の解消、深刻化する運転手不足への対策など、**持続的な公共交通ネットワークの形成**
- 市民の防災意識と地域防災力の向上、避難所等の体制強化、風水害対策の推進など、**災害対応体制の強化**

などのほか、脱炭素社会実現に向けた取組、重層的・包括的支援体制の構築、雇用の確保・拡大と人材育成などの施策に加え、物価高騰や公共施設の老朽化等の喫緊の課題への対応を図り、本市ならではの特性を活かしつつ、新たな時代を切り拓く未来志向のまちづくりを推進。

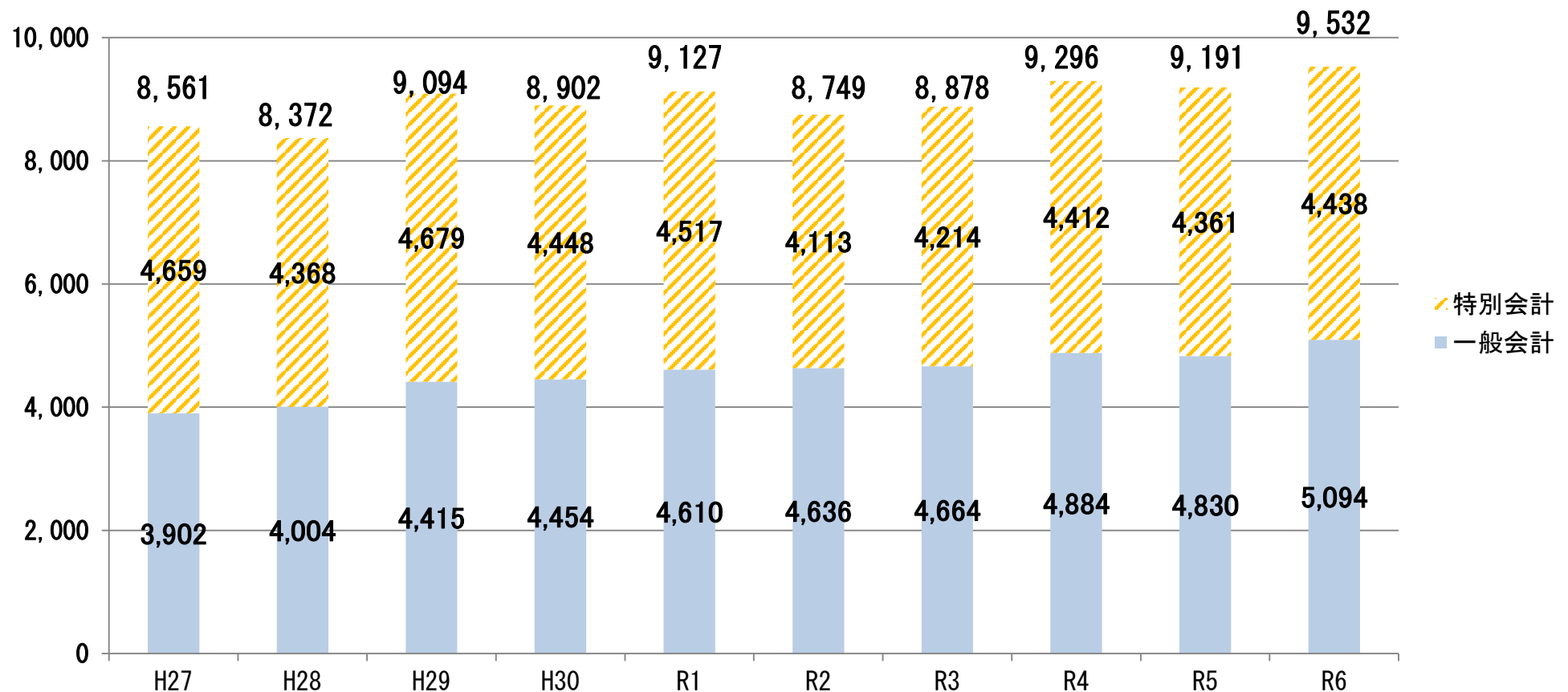
予算規模

予算規模

総額	9,531億5,500万円	(対前年度比 340億9,200万円増 3.7%増)
一般会計	5,094億円	(対前年度比 264億円増 5.5%増)
特別会計	4,437億5,500万円	(対前年度比 76億9,200万円増 1.8%増)

単位：億円

当初予算規模の推移（H27～R5）



令和6年度予算の主な施策

～子ども・教育①～

妊娠前から子育て期までの支援の充実

※予算額は100万円未満を四捨五入して表記しています。
(予算額が100万円未満の場合は、10万円単位で表記)

○【拡充】子ども医療費助成(予算額 34億2,600万円)

子育て世帯の医療費負担の更なる軽減を図るため、助成制度を拡充

〔 拡充内容:助成対象年齢の拡充、小学4年生以上の通院に係る保護者負担額の軽減
実施時期:令和6年8月診療分から 〕

○【拡充】児童手当支給(予算額 143億1,100万円)

国の制度改正に伴い、制度を拡充

〔 拡充内容:所得制限の撤廃、支給期間の延長、第3子以降の支給額の増額
開始時期:令和6年10月分から 〕

○【拡充】先天性代謝異常等検査(予算額 5,300万円)

早期発見・早期治療につなげるため、検査疾患を追加(R5:20疾患 → R6:22疾患)

○【拡充】産後ケア(予算額 8,400万円)

訪問型の対象年齢を拡大

(R5:出産後5か月未満の母子 → R6:出産後12か月未満の母子)



令和6年度予算の主な施策

～子ども・教育②～

子育てしやすい保育環境の充実



- 【拡充】民間保育園等整備(予算額 8億7,200万円)
増加する保育需要に対応するため、民間保育園の新設等を実施
〔整備箇所:25か所
総定員数(予定) R6.4月:19,882人→R7.4月:20,672人(+790人)〕
- 【新規】公立保育所主食提供(予算額 6,800万円)
各家庭より持参としている公立保育所の3歳以上児の主食について、順次提供を開始
- 【新規】幼児教育・保育人材支援センター開設(予算額 2,000万円)
保育士等の研修・相談対応の拠点機能を担うセンターを開設(開設予定:R6年4月)
- こども誰でも通園制度(仮称)の本格実施を見据えた試行的事業
【2月補正対応】(予算額 1億4,600万円)
保護者の就労要件を問わずに保育所などを利用できる制度の試行的事業を実施
〔対象児童:0歳6か月～3歳未満の未就園児
実施時期:令和6年7月～令和7年3月(予定)〕

令和6年度予算の主な施策

～子ども・教育③～

児童虐待防止対策の強化

- 【新規】新児童相談所等の整備(予算額 1,300万円)
新児童相談所の整備及び、養護教育センター、発達障害者支援センター、こども発達相談室の3施設を同敷地内に集約するための基本計画を策定
(建設予定地:中央区末広3丁目用地)
- 【拡充】子ども家庭総合支援拠点管理運営(予算額 900万円)
子どもとその家庭、妊産婦等に対する支援を充実するための拠点を設置
(R4:中央区設置→R5:花見川区・稲毛区設置→R6:若葉区・緑区・美浜区設置)
- 【新規】子育て世帯訪問支援(予算額 300万円)
家事・育児に支援が必要と本市が判断した子育て家庭等に対して、家事・育児支援を行うヘルパーを派遣



令和6年度予算の主な施策

～子ども・教育④～

学びを支える教育環境の充実



- 体育館冷暖房設備整備(予算額 1億2,000万円)
教育環境の整備・防災機能強化のため、体育館へ冷暖房設備を導入(実施設計:30校)
- 学校施設の環境整備(予算額 14億800万円)
学校施設の計画保全及び機能改善を実施(大規模改造、外部改修)
- 若葉住宅地区小学校新設(予算額 8億1,000万円)
住宅開発が進む幕張新都心若葉住宅地区において、新たに小学校を建設
(R5～R8 新築工事 開校時期:令和8年4月(予定))
- 中等教育学校整備(予算額 25億3,700万円)(債務負担行為 11億1,600万円)
市立稲毛国際中等教育学校の校舎等大規模改造工事を実施
(R5～R7 大規模改造工事 供用開始:令和7年1月(予定))
- 【新規】教員奨学金返還サポート(債務負担行為 6,500万円)
質の高い人材を確保するため、本市で公立学校の教員として採用された学生を対象に奨学金返還に要する経費を支援(上限額:300万円)
- 【拡充】小学校における専科指導のための講師の配置(予算額 4億1,400万円)
専門性の高い指導を行う非常勤講師を増員(R5:110人→R6:120人(+10人))

令和6年度予算の主な施策

～子ども・教育⑤～

学校生活支援の充実

○不登校対策の推進

- ・【拡充】ステップルームティーチャー活用(予算額 2,600万円)
教室に入れず別室に登校する児童生徒への継続的な学習支援等
のため、専任の支援員を配置(R5:4人→R6:7人(+3人))



・各種カウンセラーの配置体制拡充

【拡充】スクールカウンセラー活用(予算額 2億700万円)

小学校への配置	107校	R5:14,800時間/校	→	R6:16,430時間/校
高等学校への配置	2校	R5: 280時間/校	→	R6: 480時間/校
特別支援学校への配置	3校	R5: 360時間/校	→	R6: 420時間/校

【拡充】ライトポートカウンセラー活用(花見川・稲毛)(予算額 400万円)

R5:120時間/か所→R6:343時間/か所(+223時間)

【拡充】家庭訪問カウンセラー活用(予算額 3,500万円)

R5:4人→R6:9人(+5人))

・【拡充】フリースクール運営(予算額 500万円)

不登校児童生徒の多様な学びの場を確保するため、フリースクール委託施設を拡充
(R5:1施設→R6:2施設(+1施設))

令和6年度予算の主な施策

～子ども・教育⑥～

放課後の子どもの居場所と多様な体験・活動の充実

○【拡充】子どもルーム整備(予算額 2億1,400万円)

待機児童解消に向けた整備

〔 R7開所分 施設整備:3か所 受入枠:160人分
R8開所分 実施設計:1か所 受入枠:120人分 〕



○【拡充】子どもルーム運営(夏季休業時拡大枠)(予算額 900万円)

待機児童解消に向け、特に利用希望の多い夏季休業期間に受入拡大枠を設定
(R5:5か所→R6:7か所(+2か所))

○【新規】民設子どもルーム利用料減免(予算額 900万円)

低所得世帯・多子世帯への利用料を減免する民設子どもルームに対して補助を実施
(補助額:利用料減免額 補助上限額:公設子どもルームの利用料減免額 補助率:10/10)

○【拡充】アフタースクール運営(予算額 14億円)(債務負担行為 30億8,900万円)

児童の放課後における安全・安心な居場所と多様な体験・活動の機会提供のため、
導入校を拡充(導入校 R5:34校→R6:44校(+10校) 開設準備 10校(R7導入校))

令和6年度予算の主な施策

～子ども・教育⑦～

給食費等の支援

保護者負担の軽減を図るため、食材料費の高騰分を保護者に転嫁することなく、これまでどおりの栄養バランスや量を保った給食を提供

○学校給食費支援(予算額 2億8,800万円)

公費により高騰分を負担

対象施設 : 市立小・中学校等(164校)

公費負担額: 学校種別・学年に応じて43～56円/食

実施期間 : R6年4月～9月



○保育施設等給食費等支援(予算額 1億6,900万円)

必要な経費を助成

対象施設: 公立保育所、民間保育園、認定こども園、幼稚園等(489か所)

補助額 : 3歳以上児 約41円/食、3歳未満児 約61円/食

実施期間: R6年4月～9月

令和6年度予算の主な施策

～健康・福祉①～

包括的な支援体制の構築

- 【拡充】重層的・包括的支援体制の構築(予算額 5,300万円)
社会から孤立するなど、必要な支援が届いていない方に支援を届けるため、「福祉まるごとサポートセンター」において、新たに、本人との信頼関係の構築に向けた家庭訪問等を実施
- 【拡充】生活困窮者自立相談支援(予算額 1,800万円)
相談件数の増加に対応するため、家計改善支援員を増員
(R5:4人→R6:5人(+1人))



医療提供体制の充実

- 新病院整備(予算額 102億4,500万円)
海浜病院に代わる新病院の造成工事
及び建設工事などを実施
(R8秋頃開院予定)

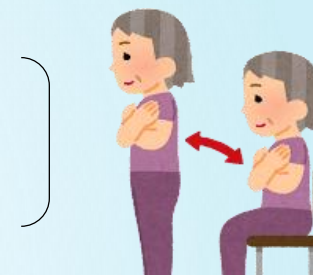


令和6年度予算の主な施策

～健康・福祉②～

健康づくりの促進

- 【拡充】高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施(予算額 8,900万円)
各区保健福祉センターに専任の医療専門職(保健師等)を配置し、フレイルが疑われる高齢者に対する保健指導や通いの場での健康教育を実施
配置場所 R5:花見川区・稲毛区・若葉区・美浜区
→R6:中央区・緑区を加え全区配置(各3人)
実施内容 高齢者に対する個別支援、通いの場等での普及啓発
- 【新規】フレイル改善(予算額 1,400万円)
高齢者の自立した生活を維持するため、フレイル状態で改善が必要な方の自宅を訪問し、リハビリテーション専門職による身体機能・生活機能の改善に向けた支援を実施
(実施内容 週1回個別プログラムに沿った訪問型支援(3か月間))
- 【新規】高齢者へのeスポーツ普及(予算額 500万円)
生きがい向上や健康増進のため、いきいきプラザ・いきいきセンターでeスポーツ講座等を開催
- 【拡充】歯周病検診【予算額 4,000万円】
歯周病予防のため、40歳以上の市民を対象として実施している歯周病検診を、30歳の市民にも実施



令和6年度予算の主な施策

～健康・福祉③～

介護保険サービス提供体制の整備

○特別養護老人ホーム整備費助成(予算額 9億5,800万円)
社会福祉法人等による特別養護老人ホーム等の整備に対し助成
(特別養護老人ホーム:208床 併設ショートステイ:52床)



○介護人材の確保・定着

- ・【新規】処遇改善加算等取得支援(予算額 200万円)
介護サービス事業者に対し、処遇改善加算等取得支援アドバイザーを派遣
- ・【新規】主任介護支援専門員資格取得者支援(予算額 50万円)
主任介護支援専門員の研修受講費用の一部を助成
- ・【拡充】介護職員研修受講者支援(予算額 2,500万円)
介護職員初任者研修及び介護福祉士実務者研修の受講費用の助成制度を拡充
- ・【新規】介護職の魅力向上(予算額 200万円)
介護の仕事に関心を持つきっかけを提供するため、介護職の仕事内容や魅力を伝えるパンフレットを作成・配布(対象 市内中学1年生)

令和6年度予算の主な施策

～健康・福祉④～

障害のある方への支援

- こども発達相談室運営(予算額 2,800万円)
障害の早期発見及び早期支援を行う体制を整備するため、未就学児の発達に関する相談窓口「こども発達相談室」を開設
(開設時期 R6年11月(予定))
- 【拡充】視覚障害者自立生活訓練(予算額 400万円)
視覚障害者の日常生活を支援するため、自立生活訓練に、スマートフォン操作活用等に係るメニューを追加
- 【新規】入院者訪問支援(予算額 30万円)
精神科入院患者の孤独感を解消するため、訪問支援員を派遣

動物愛護の推進

- (仮称)動物愛護センター整備(予算額 300万円)
動物愛護施策推進のため、動物保護指導センター再整備に向けた基本計画を策定

令和6年度予算の主な施策

～環境・自然①～

地球温暖化対策の推進



※太陽光発電設備の例

○2050年脱炭素社会実現に向けた取組

温室効果ガス排出量実質ゼロの達成に向け、令和4年に選定された「脱炭素先行地域」に基づく取組や、市民や事業者の意識の醸成や行動を促すための取組を推進

・脱炭素先行地域に基づく取組(予算額 11億1,600万円)

脱炭素先行地域事業計画に基づき、各種取組を推進

計画期間: R5～R10(6年間)

実施内容:【拡充】公共施設の脱炭素化に向けた取組

太陽光発電設備設置等、清掃工場の余剰電力活用

【新規】民間施設の脱炭素化に向けた取組

太陽光発電設備設置調査、幕張メッセのLED化

〈市民に向けた取組〉

・【拡充】住宅用再エネ・省エネ設備等設置費助成(予算額 7,700万円)

再生可能エネルギー等設備の導入費用の一部を助成

拡充内容 太陽光発電システム R5:100件→R6:180件(+80件)

※実勢価格に合わせ補助単価及び上限額を変更

ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH) R5:50件→R6:80件(+30件)

令和6年度予算の主な施策

～環境・自然②～

地球温暖化対策の推進（続き）

〈市民に向けた取組〉（続き） ※EV…電気自動車、PHV…プラグインハイブリッド車、FCV…水素自動車

・次世代自動車購入費助成（予算額 1,800万円）

EV、PHV及びFCVの購入費の一部を助成

（補助金額 EV・PHV:5万円 FCV:30万円）

〈事業者に向けた取組〉

・【拡充】中小事業者向け省エネ設備設置費助成（予算額 500万円）

補助件数を拡充して実施（補助件数 R5:5件→R6:20件）

・【新規】脱炭素推進パートナー支援（予算額 200万円）

市内事業者等の取組を促進するため、脱炭素に取り組む事業者等を

市がパートナーとして登録する制度を創設



環境負荷に配慮したごみの削減と適正処理

○【新規】プラスチック分別収集・再資源化モデル事業（予算額 2,800万円）

家庭系プラスチック分別収集等に向けたモデル事業を実施

○新清掃工場の整備（予算額 107億8,800万円）（債務負担行為 1,600万円）

旧北谷津清掃工場に代わる新清掃工場の建設工事を実施（R8年度供用開始予定）



令和6年度予算の主な施策

～環境・自然③～

水辺環境の保全と活用

- 【拡充】河川を活用したまちづくりの推進(予算額 8,900万円)
都川・花見川・鹿島川を活用し、地域活性化へつなげていくため、河川空間とまちなかの公園などの地域資源を一体的に活用する社会実験等を実施

※社会実験イメージ(河川を活用したまちづくり)



緑と水辺の活用と充実

- 千葉公園の再整備(予算額 3億2,000万円)
千葉公園の魅力向上や周辺地域の活性化を図るため、「人が集まり まちを育てる都心のオアシス」実現に向けた整備を推進(R6:やすらぎゾーン施設整備、蓮華亭改修 等)
- 動物公園リスタート構想の推進(予算額 5億1,100万円)
リスタート構想に基づく再整備等を実施
(湿原ゾーン整備基本設計、動物科学館学習展示施設改修等)
- 公園トイレの快適化(予算額 5,000万円)
身近な公園の便器洋式化や、建替えに向けた実施設計などを進めるほか、トイレ清掃回数を増加



※社会実験イメージ(河川を活用したまちづくり)



※動物科学館エントランスイメージ

令和6年度予算の主な施策

～安全・安心①～

災害対応体制の強化

- 【新規】防災アセスメント調査(予算額 2,000万円)
適切な避難手法、避難先などの対策を検討するため、大規模な風水害において想定される建物被害・人的被害を調査
- 【新規】風水害対応図上訓練(予算額 300万円)
風水害発生時に迅速かつ的確な対応ができるよう図上訓練を実施
- 【拡充】防災備蓄倉庫の整備(予算額 3,300万円)
避難所等に配備した備蓄品を適切に管理するため、防災備蓄倉庫を整備
(追加整備:42か所、老朽化による更新:5か所)
- 【拡充】帰宅困難者用備蓄品整備(予算額 900万円)
新たに帰宅困難者一時滞在施設に指定した施設へ備蓄品を整備
(新規指定施設:2施設)
- 【拡充】避難所運営委員会の活動支援(予算額 600万円)
更なる活動促進のため、補助限度額を拡充(R5:3万円/か所→R6:5万円/か所)



令和6年度予算の主な施策

～安全・安心②～

市民の防災意識と地域防災力の向上

- 【拡充】避難行動要支援者の支援体制の強化(予算額 800万円)
災害時における避難行動要支援者の個別避難計画を作成(計画作成件数:400件)

消防力の充実・強化

- 航空消防防災体制の充実(予算額 18億2,900万円)
老朽化した消防防災ヘリコプター「おおとり2号」の機体を更新するとともに、更新する機体の操縦・整備資格を取得
(運航開始予定:R7)



防犯対策・被害者支援の推進

- 【新規】犯罪被害者等支援(予算額 800万円)
犯罪被害者等支援条例(R6.4月施行予定)に基づき、新たに必要な支援を実施するとともに、既設の相談窓口には専門相談員を配置
(実施内容 見舞金の支給、日常生活等支援、専門相談員2名配置)

令和6年度予算の主な施策

～地域社会①～

持続可能な市民主体のまちづくりの推進

- 区役所を中心とした地域支援プラットフォームの構築(予算額 100万円)
複雑多様化する地域課題の解決、町内自治会等の地域コミュニティの維持・強化を図るため、区役所を中心としたプラットフォームの構築に向けた取組みを推進

実施内容	町内自治会・大学・NPO等の交流会・研修会
実施場所	交流会 R5:中央区・若葉区→R6:全区 研修会 R6:中央区・若葉区

- 【新規】町内自治会DX化モデル事業(予算額 300万円)
町内自治会活動の効率化・活性化を図るため、SNSやアプリ等を活用した情報の発信・共有、災害時の安否確認などのモデル事業を実施

多様性を活かしたインクルーシブなまちづくりの推進

- だれもが遊べる広場づくり(予算額 500万円)
障害の有無などに関わらず、だれもが一緒に遊べる広場整備をモデル実施
(整備場所:花島公園 内容:実施設計)
- 【新規】多様な性への理解促進(予算額 50万円)
多様な性に関する悩みの軽減や孤立の防止を図るため、当事者等が気軽に集える場を設け、市職員との意見交換を行うとともに、弁護士等の専門家を交えた勉強会を開催
(交流会:年6回、勉強会:年2回)

令和6年度予算の主な施策

～地域社会②～

生涯学習を通じた地域活動の推進

- 【新規】千城台公民館・若葉図書館再整備
(予算額 4,900万円)(債務負担行為 8,200万円)
老朽化に伴い千城台公民館及び若葉図書館を複合施設として移転により再整備
〔 R6実施内容 基本・実施設計着手(～R7まで)
整備予定地 千城台南小学校跡地
供用開始 R11年度中(予定) 〕

多文化共生社会の推進

- 【拡充】日本語教室運営助成(予算額 300万円)
外国につながりを持つ児童生徒のための日本語教室を運営する団体に対し助成
(上限額 R5:10万円→R6:20万円 ※この他、会場使用料として別途助成)
- 【新規】外国人市民向けごみ出しルール周知啓発(予算額 20万円)
外国人市民向けにごみの分別排出ルールに係るチラシを作成し、不動産業者等を通じて転入者に配布するほか、大学・国際交流協会主催イベント等での周知啓発を実施

令和6年度予算の主な施策

～文化芸術・スポーツ①～

文化芸術活動の創出と支援

- 千葉国際芸術祭の開催(プレ会期)(予算額 1億1,100万円)
本市の資源や魅力を内外に広く発信するため、R7年度に千葉国際芸術祭を開催予定
(R5～R6:プレ会期 R7:本会期)

文化財の保全・活用

- 【拡充】郷土博物館の充実
(予算額 1億5,300万円)(債務負担行為 1億4,900万円)
千葉開府900年に向けて、千葉氏をはじめとする郷土の歴史を学ぶことができる拠点とするため、展示をリニューアル

展示リニューアル改修

R6年度下半期～R7年度上半期

供用開始(予定)

R7年度下半期



※郷土博物館展示リニューアルイメージ(五大カ船)

令和6年度予算の主な施策

～文化芸術・スポーツ②～

市民スポーツ活動の促進・支援

○【新規】アスリートの育成支援(予算額 600万円)

世界に挑戦する千葉市ゆかりのトップアスリート及び次世代アスリートへの支援制度を新たに創設

○パラスポーツの推進(予算額 5,500万円)

障害のある人も無い人も、共にスポーツを通じて交流できるまちづくりを進めるための取組を推進

- ・パラアスリート学校訪問
(訪問校数:33校)
- ・【拡充】パラスポーツ教室
(教室回数 R5:116回→R6:143回)
- ・【新規】パラスポーツ指導者育成
(新規資格取得者向け研修開催)



令和6年度予算の主な施策

～都市・交通①～

持続的な公共交通ネットワークの形成

○【拡充】地域公共交通支援(予算額 4,100万円)

路線バスやタクシーの運転手不足への対策として、人材確保に係る支援制度を拡充

運転手養成支援 対象経費:2種免許取得に係る教習費(R6～特例講習を対象に追加)
支援金額:バス事業者 上限30万円、タクシー事業者 上限5万円

※特例講習受講の場合は別途上限15万円

求人支援 対象経費:求人に係るイベント、ホームページ作成等に係る経費
支援金額:バス事業者 上限6万円×従業員数×1/2 /者

※対象は中小企業規模のバス事業者に限る

タクシー事業者 上限30万円/者

○【新規】生活交通バス路線維持支援(予算額 7,500万円)

生活交通として必要なバス路線を維持するため、バス事業者に対し、運行に係る経費の一部を助成

対象路線:運送収入等では維持・確保が困難な路線のうち、代替交通手段の有無、
運行回数、輸送量等から支援対象路線を選定

補助額:経常費用(運行経費等)に対する経常収入(運賃収入等)の欠損分を助成 補助率:10/10

○【新規】大宮台コミュニティバス運行(予算額 1,900万円)(債務負担行為 1,000万円)

路線バスの廃止に伴い、新たなコミュニティバスを運行

(対象区間:鎌取駅、大宮台団地、千城台駅など 運行開始予定 R6年4月)

令和6年度予算の主な施策

～都市・交通②～

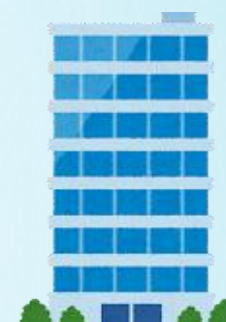
持続的な公共交通ネットワークの形成（続き）

- 新たな地域公共交通導入に向けた社会実験（予算額 2,500万円）
地域主体によるデマンド型交通の社会実験を引き続き実施
（実施地区 R5:緑区高津戸町北部エリア→R6:大椎台、下大和田地区を追加）

都心の魅力向上

○千葉駅周辺の活性化推進

- ・中央公園・通町公園の連結強化（予算額 17億1,300万円）
中央公園、通町公園、千葉神社を一体的に捉え、賑わいと回遊性を高める空間を整備
- ・千葉駅東口西銀座B地区優良建築物等整備（予算額 7億円）
新たな賑わいを創出するため、優良建築物を整備する事業者に対し助成
（整備箇所:中央区富士見2丁目 R4～整備(R8年度中竣工見込)）



- 千葉マリスタジアム（建替・改修）基本構想・基本計画策定
（予算額 4,300万円）（債務負担行為 5,100万円）
老朽化の進むスタジアムの建替・改修に係る基本構想を策定するとともに、基本計画の策定に着手



令和6年度予算の主な施策

～都市・交通③～

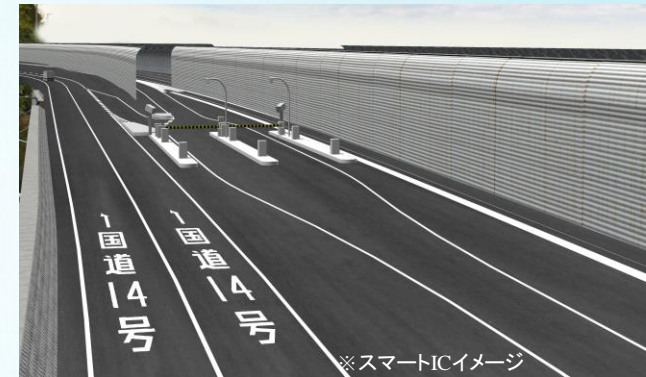


地域資源の発掘・活用

- 【拡充】千葉開府900年に向けた取組(予算額 1,500万円)
千葉開府900年となるR8年に向けて機運醸成や必要な準備を実施

道路ネットワークの形成

- 道路整備(予算額 20億600万円)
東寺山町山王町線(若松町地区) ほか
- 街路整備(予算額 37億600万円)
塩田町誉田町線、磯辺茂呂町線(園生町地区)、
村田町線、誉田駅前線、幕張本郷松波線 ほか
- (仮称)検見川・真砂スマートIC整備(予算額 5,600万円)
東関東自動車道に接続する東京方面への新たなインターチェンジを整備(R6:詳細設計)



安全・安心な移動環境の整備

- 【拡充】鉄道駅バリアフリー化の推進(債務負担行為 2億5,400万円)
鉄道駅利用者の移動等の円滑化を図るため、鉄道事業者が実施する鉄道駅バリアフリー化に要する経費を助成(内容 エレベータ、ホームドア設置等)

令和6年度予算の主な施策

～都市・交通④～

スマートシティの推進

- 【拡充】キャッシュレス化の推進(予算額 500万円)
利便性の向上を図るため、キャッシュレス決済が可能な窓口を増設
(R5:108か所→R6:115か所(+7か所))
- 【拡充】あなたが使ええる制度お知らせサービス(予算額 800万円)
サービスの対象制度を追加
(対象制度 R5末:計29制度→R6末:計31制度(+2制度))
(追加制度 小学校入学準備金、就学援助)
- 自動運転車サービスの推進(予算額 1億8,200万円)
サービス実装に向けて、デジタルツイン(幕張新都心の仮想空間)上での自動運転技術の検証などの取組を推進
- デジタルデバйд対策(予算額 300万円)
高齢者等のデジタル活用に向けた取組を推進
(実施内容 民間企業と連携したスマートフォン講座、相談会開催)
- 【拡充】書かない窓口導入(予算額 500万円)
区役所市民総合窓口で申請書の記載が不要となる「書かない窓口」の開設に向けた設計を実施(開設時期:R8年1月(予定))



令和6年度予算の主な施策

～地域経済①～

地域経済の新たな担い手の創出

○【拡充】企業立地の促進(カーボンニュートラル特例)

(債務負担行為 限度額:企業立地促進事業補助制度の限度額の範囲内)
省エネ設備等の投資を行う企業に対し奨励金を支給

対象設備:工場・事業所全体的大幅な省エネ、より低炭素な燃料への転換を行う機器等
支給額:取得した設備に係る固定資産税額の1/2相当額
上限額:1,000万円

○創業支援の強化

・アクセラレーションプログラム(予算額 1,500万円)

創業者の事業成長・拡大を促進するため、外部メンターによる経営支援を実施
(支援内容:販路拡大、ビジネスマッチング、上場・海外展開に向けた支援)

・イノベーション拠点整備補助(予算額 500万円)

多様な主体が交流可能なイノベーション拠点の整備に係る経費を助成

対象経費:整備・改修工事費、コミュニティマネージャー人件費等
補助率:1/2
上限額:250万円

令和6年度予算の主な施策

～地域経済②～

持続可能な地域経済の確立に向けた経営力の強化

○【拡充】中小企業金融対策(予算額 100万円)

SDGsの取組を促進するための新たな支援制度を創設

〔 対象者 : 脱炭素推進パートナー支援等の認証・登録を受けた市内中小企業者 〕

支援内容: ①利子補給率の上乗せ(最大+0.5%)

②金融機関において融資利率を0.1%引き下げ

○新規事業創出支援(予算額 1,400万円)

中小企業者の優れた新商品の事業化等の促進のため、外部プロ人材を派遣

(支援内容: 新商品開発、DX推進、新しい生産方法の導入、販路拡大支援 等)

雇用の確保・拡大と人材育成の強化

○【新規】中小企業のリスキング促進(予算額 300万円)

安定的な人材確保、経営基盤の強化のため、従業員のリスキングに要する経費の一部を助成

〔 対象経費: 研修受講料・教材費 〕

補助率 : 1/2

上限額 : 研修計画 未策定の場合5万円、策定済の場合10万円

令和6年度予算の主な施策

～地域経済③～

雇用の確保・拡大と人材育成の強化（続き）

○【新規】資格取得支援（予算額 600万円）

人手不足が生じている運輸業・建設業の人材確保や事業継続を支援するため、従業員等の資格取得に係る経費の一部を助成

対象者：①資格を取得し、市内中小企業に就職した者

②従業員の資格取得費用を負担した中小企業者

対象経費：資格取得に要する経費（テキスト代、受験費用 等）

対象資格：運輸業関連資格（大型自動車運転免許 等）

建設業関連資格（建築施工管理技士 等）

補助率：1/2 上限額：15万円

○【拡充】ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアム運営（予算額 800万円）

小・中・高校生向けの起業体験講座を新たに実施するとともに、新規事業開発に着手

実施内容 西千葉子ども起業塾（オンライン入門コース）の対面版開発、

会員企業等との新たなコンテンツの開発

令和6年度予算の主な施策

～地域経済④～

MICEの推進

○MICE誘致へ向けた開催支援(予算額 2,500万円)

経済波及効果を高めるとともにMICEの脱炭素化を促進するため、各種支援を実施

・MICE開催支援

(対象経費:会場借上費、会場設営費等 補助率:1/2 上限額:100～300万円)

・地域への波及効果を高める取組への支援

(対象経費:MICE参加者の市内視察ツアー等 補助率:2/3 上限額:10～200万円)

・脱炭素化の取組への支援

(対象経費:MICE開催時の脱炭素化に係る経費 補助率:4/5 上限額:10～200万円)

○大規模イベント開催支援(予算額 2億円)

経済効果の高い大規模イベント開催を支援

(X Games千葉2024開催に伴う負担金)



©Brett Wilhelm / X Games

令和6年度予算の主な施策

～地域経済⑤～

農業の成長産業化

- 【拡充】食のブランド化推進(予算額 2,300万円)
本市産品の高付加価値化及び競争力強化を図るため、食のブランド「千」の認定制度を運用するとともに、新たに都内での販売イベント等を実施
内容:認定事業者支援、商品開発補助、プロモーション等販路拡大支援 等
- 農業者・食品関連事業者の経営力向上支援(予算額 800万円)
農産物を活用した商品開発、販売力強化への取組を支援
(内容:市内農業者等に対し、専門家等の派遣を通じた個別支援を実施)



※千葉市食のブランド「千(せん)」ブランドロゴ

農業の担い手の確保・育成

- ニューファーマー育成研修
(予算額 1,500万円)(債務負担行為 600万円)
意欲ある就農希望者を対象に、農業の知識や技術の習得を目的とした研修を実施



令和6年度予算の主な施策

～地域経済⑥～

農業の担い手の確保・育成（続き）

○未来の千葉市農業創造(予算額 1億2,500万円)

参入促進や新規就農支援などを推進し、本市農業の持続性を高めるため、農業法人等に対し、施設・機械整備等に係る経費を助成

・【拡充】みどりの食料システム戦略タイプ

農業分野の環境負荷低減のため、省エネ機器の導入に係る経費を助成
(補助率:1/2 上限額:1,000万円)



農作物被害等の防止

○【拡充】有害鳥獣対策の推進(予算額 3,700万円) ※ 経済農政局(農作物被害対策)及び環境局(生活被害対策)の合計で表記

・農作物被害対策

中型獣捕獲地域を拡大するとともに、新たにイノシシ集中捕獲等を実施

〔 中型獣集中捕獲 R5:若葉区(1地区)→R6:若葉区・緑区(2地区)
イノシシ集中捕獲 若葉区・緑区(2地区) 〕

・生活被害対策

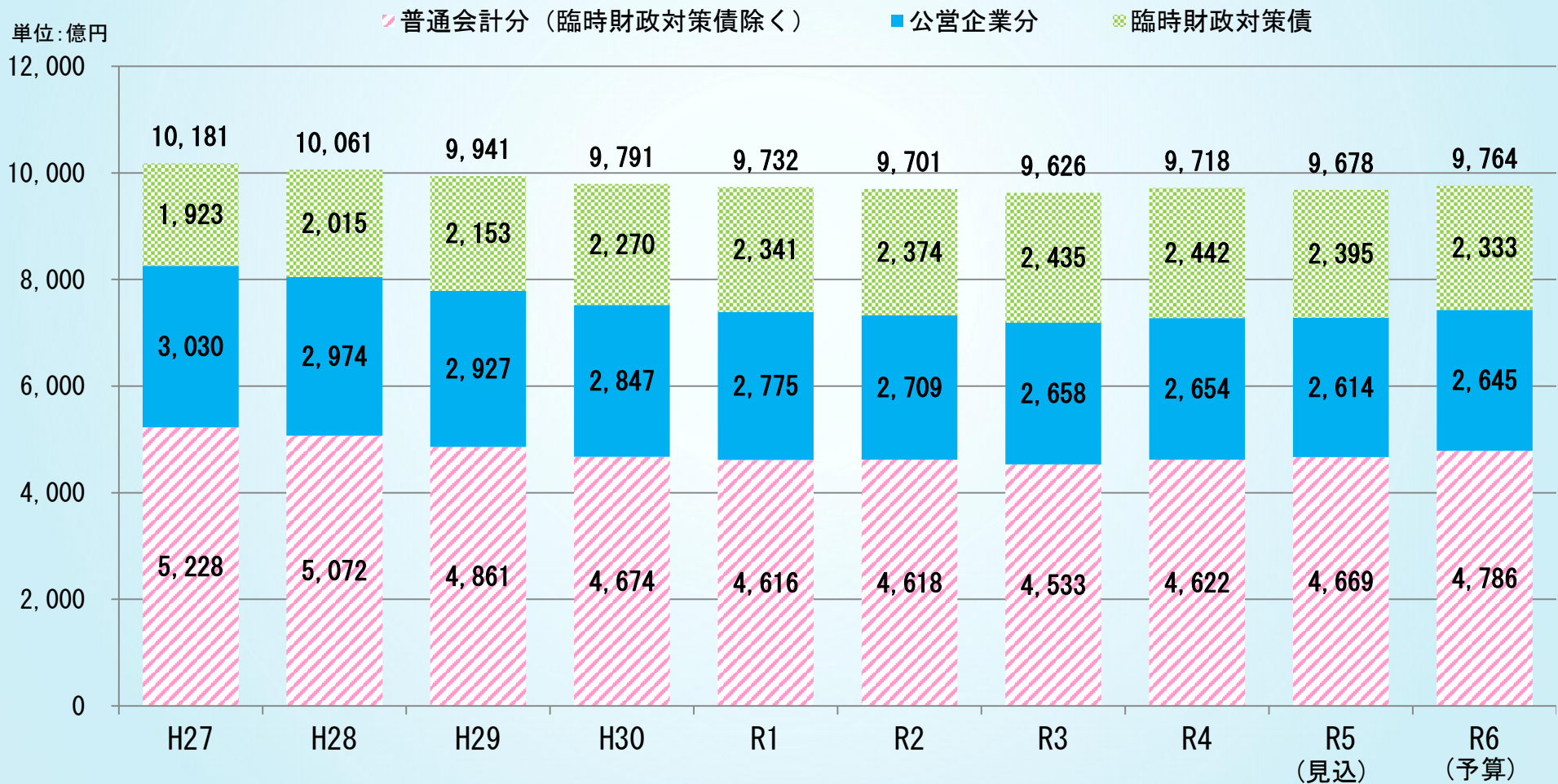
イノシシ捕獲用わなを増設するとともに、安全対策の周知を実施
(捕獲わな設置数 R5:29基→R6:39基(+10基))

主な財政指標

全会計市債残高の見込み

○新清掃工場建設の進捗などに伴い建設事業債の発行が増となることから、全会計市債残高は増加する見込み

【全会計市債残高の見込み】



主な財政指標

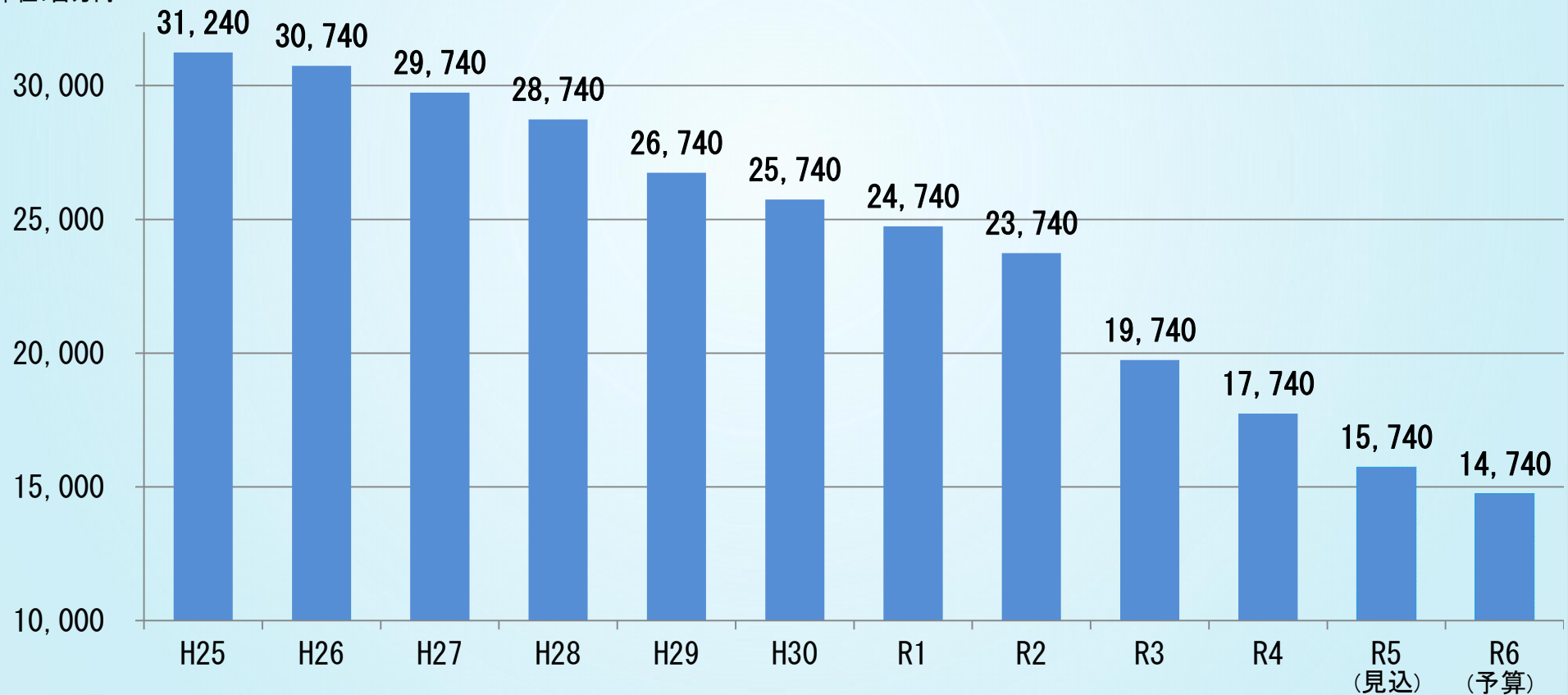
基金借入金残高の見込み

○ 一般会計の収支不足を補てんするために実施した基金からの借入は、「千葉市中期財政運営方針」の返済予定を見直し、10億円を返済

※ 見直し内容：方針期間内の返済額を80億円程度から60億円程度に変更

【基金借入金残高の見込み】

単位：百万円



主な財政指標

財政調整基金残高の見込み

○扶助費や物価高騰などの財政需要増に対応するため、令和6年度当初予算で78億円の取崩しを行うものの、一定の残高(61億円)を確保する見込み。

【財政調整基金残高の見込み】

単位:百万円

